

夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



竹世 亮

夢を叶えるためには、色々方法はありますが、まずは、手の届く、または届きそうな目標を決めて、一つずつクリアすることがコツです。一つひとつの小さな目標達成が自信につながり、最後には自分の夢が叶うと思います！



レシーブとして帯同。そこでは、柔整・鍼灸の資格を最大限に生かし、急性期症状に対しての治療や、高電圧治療機、微弱電流などの物理療法を駆使した効率的な治療で、選手のコンディショニング、パフォーマンスの向上を実現しています。高校生から60歳代まで、幅広い世代の選手を診ることで、筋肉の違い、接し方の違いなど、多くの経験ができる貴重な現場でもあります。



いしはら鍼灸接骨院 勤務
広島県成年男子サッカー
広島県シニアサッカーチーム・トレーナー

2 笹木 亮さん

■柔整学科 2005年卒業 2期生
■鍼灸学科 2008年卒業 5期生

患者様に心の底から感謝されることを目標に。

よく考えて行動し、患者様の気持ちや思いに寄り添い、自分なりの解釈をはっきりとわかるように伝える。

サッカー部に所属していた高校時代。サッカーやバスケットなどのスポーツにより、成長期に多くみられる膝の痛み(オスグット・シュラッター病)に悩まされた笹木さん。当時のサッカー部のトレーナーの手厚いケアに感動し、「自分もトレーナーになりたい」と、卒業後、IGLの柔整学科に入学します。

奨学金とアルバイト収入でIGLに通った笹木さん。勉強との両立のなかで、タイムスケジュールの管理が一番の難関でした。社会人入学の方とも積極的に接することで、**一般常識や礼儀なども学ぶ**ことができ、充実した学生生活を送ることができたと振り返ります。

柔整学科卒業後、自身のアトピー性皮膚炎が鍼灸治療で良くなるのではないかと、思いもあり、続いて鍼灸学科に入学。トレーナーとして、現場で即対応できる**効果の高い治療**ができること、さらに、西洋医学だけでなく、東洋医学の観点から考えることで、**治療の幅が広がる**、ということも考えての選択でした。

卒業後は、いしはら鍼灸接骨院に勤務。最初は、初めてのことに失敗することばかり。自信を失いますが、院長先生の「責任は全てとってやるから、とにかくチャレンジして、いっぱい失敗しろ！」という言葉に勇気もらいます。治療を続けるうちに、笹木さんは患者さんに「良くなった」と感謝されるようになり、少しずつ自信をつけ、乗り越えていけたと、当時を振り返ります。

現在、治療院での治療とともに、院を代表して、広島県成年男子サッカー、広島県シニアサッカーに、ト

笹木さんにとってこの仕事は、人を診ることで、治療に感謝・感動して頂いてお金を頂ける素晴らしい職業。常に、治療院の理念である、**患者様にと、来てよかったと思っ**て頂けることを、**患者様に心の底から感謝**されることを目標に、取り組んでいます。心掛けていることは、まずは、**自身の体調管理**。そして、常に**考動(こうどう)**し、**相手を慮り(おもんばかり)聴す(ゆるす)**こと……よく考えて行動し、患者様の気持ちや思いに寄り添い、よくよく、状態や希望を聴きとる。そして、それに沿って、自分なりの解釈を、はっきりとわかるように伝えること。一人ひとりの患者様に対し、**理念を叶えるための秘訣**です。